

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 4ク ォーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 1, 月 / Mon 2
開講期間 / Course duration	2020/11/25 ~ 2021/02/01		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0 / 2.0
時間割コード / Time schedule code	20200586033101	科目番号 / Course code	05860331
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMA 16271_005		
授業科目名 / Course title	A1契約と法規制 / Contract Law		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	村山 洋介 / Yosuke Murayama		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	村山 洋介 / Yosuke Murayama		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	村山 洋介 / Yosuke Murayama		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟13 / RoomA-13		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	多・教・薬・水		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	murayama_nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	経済学部本館6階		
担当教員TEL/Tel	095-820-6362		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業の前後、もしくはE-mailにて適宜受付ける。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	大学での専攻に関わらず、社会人として知っておくことが不可欠な法律学に関わる基本的な概念を学び、経済活動における法の機能と役割について考察する。		
授業到達目標/Course goals	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会規範としての法の役割と機能を説明できるようになる。</li> <li>・法の種類と主要な分類方法を説明できるようになる。</li> <li>・法情報へのアクセス方法を身につける。</li> <li>・法的思考法(法的三段論法)を身につける。</li> <li>・法的三段論法を用いて具体的な事例(簡単な事例)について法的結論を導くことができるようになる。</li> <li>・契約に関する基本的な法制度を学ぶ。</li> </ul>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動  / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動  / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動  / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動  / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法  / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される  / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	レポート課題(80点) + 授業への取り組み(20点) = 合計100点のうち60点以上を合格とします。レポート課題では、課題設定の妥当性、論理性、構成力、文章力を主として評価する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法 ) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	授業中に適宜指示を行う。		
キーワード/Keywords	私法、契約、公法、法的三段論法、経済活動に対する法規制		
教科書・教材・参考書/Materials	指定しない。		
受講要件(履修条件) /Prerequisites	特になし。		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談ください。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-mail) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL) /Remarks (URL)			
学生へのメッセージ/Message for students			

実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N )	
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づ く教育内容 (実務経験のある教員による授業科 目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	法とは何か - 法の役割と機能
第2回	法の分類 - 私法と公法、実体法と手続法
第3回	法の適用 - 法的三段論法
第4回	契約の成立 1
第5回	契約の成立 2
第6回	契約の不履行 1
第7回	契約の不履行 2
第8回	契約からの離脱 1
第9回	契約からの離脱 2
第10回	金銭の貸借と利息
第11回	事例研究 (いじめと私法的救済) 1
第12回	事例研究 (いじめと私法的救済) 2
第13回	事例研究 (建物の賃貸借) 1
第14回	事例研究 (建物の賃貸借) 2
第15回	まとめ

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 1, 月 / Mon 2
開講期間 / Course duration	2020/09/28 ~ 2020/11/16		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0 / 2.0
時間割コード / Time schedule code	20200586033301	科目番号 / Course code	05860333
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMA 16281_005		
授業科目名 / Course title	A1生活・経済活動と法 / Legal System on Life and Economic Affairs		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	井畑 陽平		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	井畑 陽平		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	井畑 陽平		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟13 / RoomA-13		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	多・教・薬・水		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	ibata nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	経済学部本館6階608		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜15時~16時とする。研究室が片淵キャンパスにあるため、講義後、教室にて質問されることを推奨する。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	生活や経済活動をする上で生じうる問題について、法律が、実際どのように解決しているのかを学習する。		
授業到達目標/Course goals	日常生活や経済活動と法と関わりについて理解する 法的なものの考え方(法的思考方法)について理解する これらを通じて、日常生活や経済活動を行ううえで生じる紛争について、どのような機能と役割を果たしているかを理解できるようになる		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動  / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動  / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動  / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動  / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法  / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される  / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	講義終了時に、随時、課題レポートの提出を求める。基本的には、提出された課題レポートの成果により、評定する(90%)。 なお、特に、講義中、教員が投げかけた質問に対して積極的に意見を述べたり、講義内容に即した質問を教室で共有した学生について、申告に応じて積極的に加点したい(10%)。 なお、履修者多数(今のところ、50名を基準として考える予定)のとき、定期試験(100%)により評定することとしている。 このあたりは、履修者数に左右されるため、詳細は、講義時、教室で周知する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) )/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	事前学習としては、配付される講義資料に目を通し、よく分からない用語について辞書等で調べることが求められる(2h)。事後学習としては、講義で得た知識をノート等に整理することが求められる(2h)。		
キーワード/Keywords	民法、刑法、行政法、法的三段論法		
教科書・教材・参考書/Materials	参考書として、 有斐閣が刊行する『ポケット六法』最新版(2020年度後期であれば、令和3年度版となる)		
受講要件(履修条件)/Prerequisites	講義資料(レジュメ等)は、LACSに掲示します。基本的に教室で配付しないので、必要であれば、各自で印刷して教室に持参すること。履修する学生の数が多いときには、講義時間中に、教室でアクセスしにくいケースもあるので、ダウンロードしたり、予め印刷したりするようにお願いします。 できれば、有斐閣が刊行する『ポケット六法』最新版(2020年度後期であれば、令和3年度版となる)を入手して下さい。1冊手元にあってもよいと思います。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 。アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	<a href="https://www.courts.go.jp/saikosai/index.html">https://www.courts.go.jp/saikosai/index.html</a> 最高裁判所 <a href="https://www.nichibenren.or.jp/">https://www.nichibenren.or.jp/</a> 日本弁護士連合会 <a href="http://www.kensatsu.go.jp/top.shtml">http://www.kensatsu.go.jp/top.shtml</a> 検察庁 たまには、このようなサイトをご覧になるのもよいかもしれません。
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience（Y / N）	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	井畑陽平 / JICAの途上国政府関係者向け研修講師を務めた経験を活かし、学生の視野を広げるとともに、それを身に付けるために自らが考え行動することを促す。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1	イントロダクション
2	消費者被害と民法、刑法、行政法
3	金銭貸借（お金の貸し借り）と民法、刑法・行政法
4	交通事故と刑法、民法、行政法
5	路上喫煙と行政法、刑法、民法
6	短期雇用（アルバイト）と民法、刑法、行政法
7	生活保護と民法、行政法、刑法
8	廃棄物（ゴミ）の不法投棄と民法、行政法、刑法
9-11	社会における格差の解消と行政法、刑法、民法
12-14	家族関係と法 行政法、民法、刑法
15	授業内容の確認と総括

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 4クオ ーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 1, 火 / Tue 2
開講期間 / Course duration	2020/11/25 ~ 2021/02/02		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0 / 2.0
時間割コード / Time schedule code	20200586033501	科目番号 / Course code	05860335
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMA 16291_005		
授業科目名 / Course title	A1租税と社会 / Tax and Society		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	山内 伸隆 / yamauchi nobutaka		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	山内 伸隆 / yamauchi nobutaka		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	山内 伸隆 / yamauchi nobutaka		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育B棟15 / RoomB-15		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	多・教・業・水		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	nobutaka.yamauchi@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	経済学部キャンパス(片淵キャンパス)の本館(学務係が1階にある棟)6階602号室		
担当教員TEL/Tel	095-820-6331		
担当教員オフィスアワー/Office hours	いつでもどうぞ(オンラインでも可能です)。ただし、メールでのやりとり以外については、事前に日程調整メールをください。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	租税の概略について、社会との関わりに触れつつ解説する。このことを通じて、租税の社会における役割などを理解する。		
授業到達目標/Course goals	租税の仕組みなどについて把握するとともに、租税の社会における役割などを理解した上で、今後の租税のあり方などについて自ら考えられるようになること。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	初回の授業で案内します。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	初回の授業で案内します。		
キーワード/Keywords	租税、税、税金、マイナンバー、UI/UX		
教科書・教材・参考書/Materials	初回の授業で案内します。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	特にありません。		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	初回の授業で示します。		
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N) / Instructor(s) with practical experience (Y / N)	Y		

実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	山内 伸隆 / 税務行政に携わった経験 / 税務、マイナンバー制度、IT戦略の立案、システム開発などの自身の経験を活かし、「日常生活の一環として、特別に意識することなく申告・納税が完了する環境の整備」という観点も踏まえながら授業を進めます。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション
第2回	租税と社会について
第3回	租税と社会について
第4回	租税と社会について
第5回	租税と社会について
第6回	租税と社会について
第7回	租税と社会について
第8回	租税と社会について
第9回	租税と社会について
第10回	租税と社会について
第11回	租税と社会について
第12回	租税と社会について
第13回	租税と社会について
第14回	租税と社会について
第15回	租税と社会について
第16回	試験 (未定。レポートでの評価になるかもしれませんが。その場合は授業。 )